

明石市立大蔵中学校だより「2021年7月12日(第117号)」

書あり 師あり 友ありて



県総体に陸上部5名と女子ハンドボールが出場決定！

＝第43回東播磨地区中学校総合体育大会第1・2日目結果＝

学校長 平田 高之

木曜日が1日臨時休業、金曜日にも3時間授業及び給食だけということで、天候や体調が心配された東播総体ですが、大蔵中生が躍動してくれました。

すでにホームページの「最近の行事」で各競技の結果をお知らせしておりましたが、特に、陸上競技部は、男子円盤投げで〇〇さんが、市総体大会記録・明石市中学校記録をさらに更新し、東播総体大会新記録、今季日本中学生ランキング1位の42m30の見事な記録で優勝を飾りました。また、男子砲丸投げでも、〇〇さんが12m83の自己新記録で優勝しました。今季兵庫県中学ランキング1位、全国大会標準記録まで後17cmの素晴らしい記録で、大蔵中が投てき2種目を制覇しました。兵庫県総体でもダブル優勝、さらには、全国大会やジュニアオリンピックの標準記録突破も期待されます。

男子400mでは〇〇さんが2位、女子走り幅跳びでは〇〇さんが6位、女子円盤投げでは〇〇さんが6位に入賞を果たし、県総体の出場権を獲得しました。おめでとう＆県総体での健闘を祈っています。その他、男子3000mでは〇〇・〇〇さんが決勝進出、男子1000mでは〇・〇〇さんが準決勝進出する等、非常にレベルの高い東播地区大会でも大いに活躍してくれました。

続いて、女子ハンドボール部ですが、第1日目は、1回戦で魚住中学校に攻守とも圧倒し21対10で快勝しましたが、続く2回戦で、強豪浜の宮中学校に8対22で敗れました。東播地区から5校県総体に出場できるため、2日目に敗者戦が行われ、まず、初戦の魚住東中学校に10対9と競り勝ちました。5位決定戦では、平岡中学校に前半5対4とリードするも、後半逆転されて最大3点差までつけられましたが、その後キーパーのナイスセーブや全員が一丸となった攻撃で同点に追いつき、残り時間わずかなところで勝ち越し点を奪い、10対9で見事な逆転勝利を飾りました。本校女子ハンドボール部は、平成10年以降、平成20年3月に春の全国中学校選手権優勝をはじめとして、全国総体3位、近畿総体準優勝、県総体3度の優勝等強豪校として知られていましたが、久しぶりの県総体出場です。きっと地域やOBの方も喜んでおられると思います。本当によく頑張ってくれました。

女子卓球個人では、〇〇さんが初戦をストレート勝ちで突破しましたが、2回戦の相手が第1シードの選手で残念ながら敗れました。同じく2年生の〇〇さんも初戦を0-2から見事な逆転勝ちで突破しましたが2回戦で敗れました。〇〇さんは優勝候補相手に一歩も怯まない試合ぶりは素晴らしかったですし、〇〇さんには新人大会、そして、来年度の大会でのリベンジを期待しています。

男子柔道は、個人戦は、3年生の〇〇さんが初戦を一本勝ちで突破しましたが2回戦で、〇〇さんは初戦で残念ながら破れました。また、団体戦は3名しかいないため、大変厳しい戦いを強いられました。〇〇さんが勝利し、1回戦で強豪鹿島中学校に〇〇さんは勝利しましたが、1-3で敗れました。

本年度は東播総体出場の一部活動が少なかったのですが、県総体出場が果たせなくても自己新記録達成を達成する等、それぞれが力を発揮してくれました。来週の土日に行われる剣道部男子団体・個人戦、女子個人戦につながることを願っています。

いずれにしても、保護者の皆様におかれましては、無観客及び生徒の送迎等に、ご理解ご協力頂きありがとうございました。

